



2004年 3月  
号外

発行：日立製作所労働組合 政治部  
〒136-0071 東京都江東区亀戸9-3-13  
編集：日立グループ議員団会議

日立グループ議員団活動方針（議員団の心得 5原則）

- 1.日立グループ労組出身議員であることの自覚を常に堅持すること
- 2.政治活動は、日立グループ連合、日立労組の運動方針を基本とすること
- 3.電機連合をはじめ、支援組織との連携強化に努力すること
- 4.地域活動は住民の心を的確に掴み活発に展開すること
- 5.常に研鑽に励み、清潔な姿勢を貫き、住民の信頼を高めるようにつとめること

7月参議院議員選挙

『加藤としゆき』氏当選で与野党逆転

さらに次期  
衆議院  
総選挙で

民主党政権樹立に向け全力で取組もう



日立グループ議員団会長  
大畠 章宏

私たち日立グループは7月の参議院議員選挙において、電機連合公認候補「加藤としゆき」氏の当選と「民主党」の更なる躍進を確信し、政権交代への足がかりとなる強力な選挙戦を組織の総力を挙げて戦い抜きます。

今回の参議院議員選挙での与野党逆転を図り、さらにその後の総選挙で勝利し、勤労者視点の政治となる民主党政権樹立に向け全力で取組みます。

なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。



電機連合公認候補  
加藤としゆき氏

電機連合  
公認候補

加藤としゆき氏を国会へ！

紹介カードの確票と「加藤としゆき」氏のPRが勝利の鍵です

全力投球で活動の促進を！

私たち（電機連合、日立労組）の具体的政策の実現を民主党に期待。また、その担い手として「加藤としゆき」氏の擁立を決定

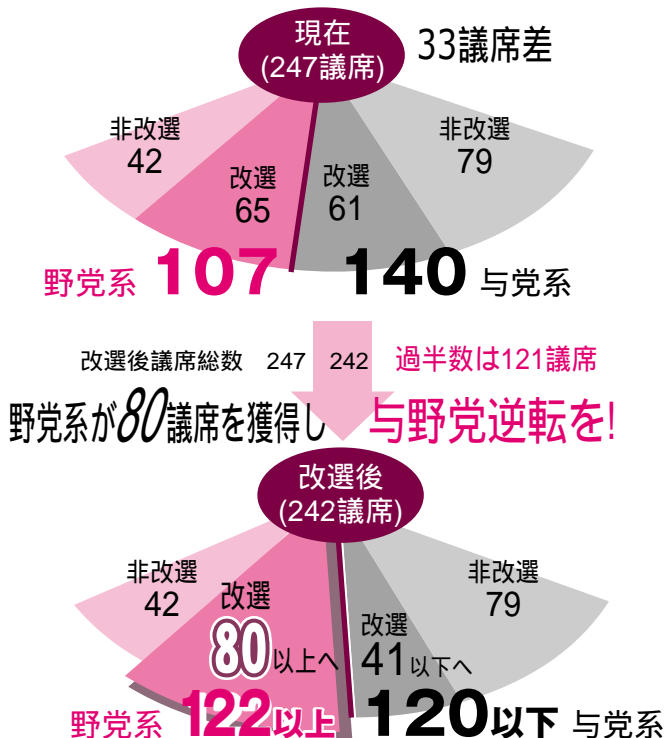
「加藤としゆき」氏の「必勝」と選挙区における「民主党」の「躍進」が政策の実現に大きな比重

組合員とその家族の皆さん、そして知人・友人に至る総力の結集が不可欠

紹介カードの確票と「加藤としゆき」氏への更なる支援に総力を挙げて取組みましょう

必勝！

必勝シミュレーション



1  
強い  
“モノづくり日本”を  
復活させます



2  
幸せな暮らしを  
ささえる  
“あんしん日本”を  
つくります



## 働くあなたと 日本再生!

加藤としゆき氏の経歴と政策



プロフィール

1949年2月愛媛県新居浜市生まれ(55歳)  
現職:三菱電機労働組合 特別中央執行委員  
略歴:

1969年 三菱電機株式会社入社  
1982年 三菱電機労働組合通信機支部執行委員長  
1984年 全労協事務局長  
1987年 連合調査法制局長、以降、労働政策局長、  
組織局長などを歴任  
1996年 三菱電機労働組合中央副執行委員長  
2000年 同中央執行委員長  
2003年~現職

透明度が高く効率的な  
“クリーン日本”を  
つくります



3



4  
美しい地球に  
貢献する  
“環境日本”を  
めざします

決意  
表明

いまの政治のあり方を変えたい

## 日本の「実力」を取り戻そう!!

私の政策の基本は、「安心して暮らせる日本を取り戻そう」という事です。そして、そのための第一のテーマが、強い「モノづくり日本」の復活です。

それぞれの企業で、労使が必死になって経営改善の取組みを進めてきました。しかし、デフレ不況の長期化でこの努力が成果に結びついていません。製造現場は急速に国内から海外へ移転しています。日本の製造業は競争力そのものを失っているかに見えます。「日本でのモノづくりはもう終わりだ」「過去の成功は忘れなさい」というような評論も多くありますが、製造業は雇用を創出する貴重な産業であり、今日本に一番必要なことは「製造業の復活」です。今なお、大きな雇用を生み出す産業であり、その競争力を世界に認められているのは製造業だけだからです。強い「モノづくり日本」復活のためこそが日本の実力を取り戻す第一のテーマです。

第二のテーマは、「あんしん日本」づくりです。政策のポイントは年金問題を解決する雇用の重要性です。年金問題を考える

上で基本的であり深刻な問題は、若い人の雇用の確保なのです。若い人の所得水準が下がってしまえば、どんな年金制度の絵を書いても破綻してしまいます。若い人の所得水準が上がらなければ、年金を受給する世代を支えることはできません。若い人に雇用があって、きちんと収入があること、これが年金論議の前提なのです。しっかりした雇用をつくるためには、産業をどうするか、言葉を変えれば「日本での工場の立地条件」を改善する視点が必要なのです。

構造改革の看板をかけたが、改革が進まないのを党内の「抵抗勢力」のせいにして、結局、ずるずると不況を長引かせ、その展望を指し示せない今の政権は、働くものの目線からは遠く離れた政権です。働く者への温かさ、愛情がない政権です。今、私たちの目線で、今の与党に変わりうる政権を担える勢力が育ちつつあります。大きなチャンスだと思えます。

日本再生に、みなさんと一緒に、希望と信念を持って取り組んでまいります。どうかご支援をお願いいたします。



東海村議会議員選挙(2004年1月18日)  
馬目 暢之(日 立支部)  
沓澤 茂樹(大みか支部)

当選御礼

引き続き皆様のご支援をお願い致します。

十王町議会議員選挙(2004年1月25日)  
渡辺 正幸(日 立支部)  
沼田 明博(H&L労組多賀支部)